



ご あ い さ つ

山口新聞社

社 長 井 上 正 明

高校スポーツの祭典「第73回山口県高等学校総合体育大会」がいよいよ開幕します。選手の皆さんは高校生活の運動部活動の集大成として大会に挑まれることでしょう。選手の懸命な姿に、応援する生徒や保護者、学校関係者ら多くの皆さんが熱い声援を送るのも本大会の特徴といえます。全国高校総体（インターハイ）の予選も兼ねる大会の共催者として、山口新聞はより充実した大会報道を目指し、高校スポーツの発展に努めてまいります。

選手の皆さんは、この大会で個人やチームの目標達成を目指して仲間とともに厳しい練習に耐え、努力を重ねてきたことと思います。鍛えた体、技術、精神力をぶつけ合い、高校生活の思い出となるプレーが繰り広げられることを期待しています。大会を通して選手の皆さんが心身ともに一段とたくましく、大きく成長されることを願っています。

山口新聞が高校スポーツ発展のため共催に加わり、今年で14回目となります。大会の共催者として、これまで選手たちの汗と涙、感動と喜びを多くの方々に伝えようとして取り組んでまいりました。県内約1万人の生徒たちが参加、31の競技に挑みますが、例年にも増して多くのドラマと好記録が生まれることを期待しています。

この大会は、7月23日から開催される全国高校総体「躍動の青い力 四国総体2022」（徳島、香川、愛媛、高知の4県と和歌山県〈ヨット競技〉）の予選を兼ねた大会でもあります。今大会や中国大会などを勝ち上がった県代表選手たちの全国大会での活躍ぶりも、大きく紙面を使って伝えていきます。皆さんの中からは2024年フランス・パリで開かれるオリンピックを目指す選手もいることでしょう。高校総体をきっかけに、世界にはばたく選手が数多く誕生することを願っています。

最後になりましたが、選手の皆さんのご健闘を祈念いたしますとともに、コロナ禍の厳しい状況の中、日々の指導や大会運営に取り組んでおられる山口県高等学校体育連盟の先生方、各競技団体関係者の皆さまに心からの敬意と感謝を申し上げまして、あいさついたします。